

つばさ 翼

No.91

発行日 令和8年7月

尾道市立総合医療センター
公立みつぎ総合病院

〒722-0393

広島県尾道市御調町124番地

TEL 0848-76-1111 (代表)

FAX 0848-76-1112

<http://www.mitsugibyouin.com>

副看護部長就任のあいさつ

令和8年4月から、副看護部長を拝命しました。保健福祉総合施設や回復期リハビリテーション病棟などでの勤務経験を活かし、未熟ではございますが、周りの皆様にご指導いただきながら精一杯努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

わが国では、2040年に向けて高齢者数がピークを迎え、その後は生産年齢人口が急速に減少していくことが推測されています。85歳以上の高齢者が増加し医療・介護のニーズが高まり、地域包括ケアシステムの深化・推進が期待されています。御調町も、人口減少と高齢化が同時に進行し、単身高齢者や高齢者のみの世帯が増加しています。その中で、当病院は、地域包括ケアシステムを構築し、地域のニーズに応え地域中核病院としての機能を果たしていく役割を担っています。保健、医療、介護、福祉が連携し、地域の住民の皆さまが住み慣れた場所で安心して生活できるようにQOL(生活の質)向上を目指した取り組みを多職種と連携してまいります。

今年度、看護部は新入職員7名を迎えることができました。当院は、基本的な看護技術はもちろん、緩和ケア・回復期リハビリテーション・地域包括ケア・訪問看護など、さまざまな経験を積むことができます。チーム全体で、新人職員をサポートしております。

2026年度看護部は、「思いやりと考える力で“人”に寄り添う看護を」をスローガンに掲げました。目標として、1.根拠を持って行動する。より良い看護のために自ら考え、チームで検討していきます。2.患者・家族の思いを尊重し、思いやりの心で接する。やさしさと思いやりの心で地域の方々のための病院づくりを目指します。3.自分と仲間の価値と役割を認識して、認めあう。話し合いができる、お互いを認め合える職場環境をつくります。これらを目標に様々な取り組みを行ってまいります。

副看護部長として、多職種と連携して患者さまやご家族のニーズを理解したケアが実践できるように日々、努力してまいります。また、職員が、働きやすい職場を目指し、職員への目配り、気配りを行いながら、職員からいつでも相談してもらえるような関係性を築いていきたいと思います。

今後も、地域の皆さまに愛される病院づくりに、全職員が一丸となり進んでまいります。引き続き、皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



副看護部長
杉本 幸江

シリーズ 医療最前線

近年、歯科用のプラスチックは材料と製法が進化し、健康保険の治療でも歯の色をした歯冠色修復物の選択肢が増えてきました。

歯科治療で用いられる修復物には、形態や材質などからさまざまな種類があり、それらのなかで歯を覆いかぶせるものを冠・クラウンといいます。いわゆる“差し歯”のように、歯の神経の治療の後、歯根を支えにした土台を作り、その上からクラウンを被せることで咀嚼機能を回復することができます。

CAD/CAM冠は、CAD：コンピューターによる設計とCAM：コンピューター支援による加工製作により製作されるクラウンのことをいいます。歯科医師が切削した歯の型採りから作製した石膏模型を歯科技工士がスキャナーで読み取り、コンピューター上で設計、その設計通りにプラスチックブロックからコンピューター支援加工機でクラウンを削り出し加工するものです。平成26年から健康保険治療の適用となり、当初は小臼歯のみの適用でしたが、令和2年には大臼歯に条件付きで適用拡大されました。使用されるプラスチックは、虫歯の修復治療に用いるコンポジットレジンを経過的に均質性や物性を向上させたブロックのみでしたが、令和5年より、生体安全性が高く高強度で破折リスクが少ないPEEK(ポリエーテルエーテルケトン)ブロックが導入されたことで、更に適応が拡大し、前歯から最後方大臼歯まで使用できるようになりました。



CAD/CAM冠 削りだし加工の様子(<https://www.vhf.com/>)

No.68

CAD/CAM冠



歯科部長 日浅 恭



CAD/CAM冠

歯の治療には、強度や化学的な安定性と加工性に優れが求められることから、長い間、貴金属が用いられてきました。皆さんご存知の通り、健康保険治療の大臼歯クラウンは銀色の金属製のみで、白いクラウンはセラミック製で健康保険外でした。保険の金属クラウンは金銀パラジウム合金で、金の含有量が12%以上、パラジウムが20%以上、銀が40%以上と決められています。“パラジウム”はあまり聞き慣れないと思いますが、白金族に分類される準貴金属です。強度に優れ、土台の歯に問題が起こることはあっても、クラウン自体に破損が生じることはまずありません。一方で、金属の色はどうしても自然感があるとは言い難く、金歯がステータスだった時代はともかく、現在では審美的に受け入れ難くなってきました。CAD/CAM冠を代表とする歯科用プラスチッククラウンは審美性に優れていますから、さらなる発展が期待されています。しかしながら、金属クラウンと比較すると強度に劣ることから冠の破折や脱落が多く報告されています。また、強度を保つために修復物の厚みが必要で歯の切削量が大きくなります。そのため、神経が保存されている歯への適応には注意が必要です。さらに、強い咬合力や歯ぎしりなどの悪習癖があり、歯や修復物がよく割れる患者さんにもおすすめでないことがあります。口の中の状況は患者さんそれぞれであり、さらに、部位によっても異なりますので、興味のある方はかかりつけ歯科を実際に受診してご相談ください。

介護老人保健施設「みつぎの苑」一般棟

「思い出す満開の桜」

春のやわらかな日差しに包まれたある日、ひかりユニットの入居者さまと職員で、施設周辺へと足を運びました。そこには見事に咲き誇る満開の桜が広がり、淡いピンク色の花びらが風に揺れていました。

その光景を目にした瞬間、皆さんの表情がぱっと明るくなり、「昔は家族でお弁当を持って行ったんよ」「きれいじゃね。天気がよくてよかった」と自然と会話が弾みました。ある方は、以前訪れた尾道千光寺の桜を思い出しながら、その時の出来事を楽しそうに語られました。また別の方は、「巻き寿司を作って花見に行った。子どもらも喜んでよう食べたんよ。懐かしいわ」と、お弁当を持って出かけた思い出や、子どもたちとの微笑ま

しいエピソードにも花が咲きました。普段は静かに過ごされることが多い方も、この日は言葉が次々とあふれ、笑顔が絶えませんでした。ユニットならではの家庭的であたたかな雰囲気の中、職員も一緒にその時間を共有し、入居者さま同士の距離もグッと縮まったように感じられました。

満開の桜は、ただ美しいだけでなく、それぞれの心に眠っていた思い出を優しく呼び起こしてくれました。春のぬくもりと懐かしさが広がったお花見でした。



グループホーム「かえで」

グループホーム「かえで」では、毎月行事を行っています。ドライブや棟内でのケーキバイキング、夏祭り、子ども図書館での作品展示など、一年を通して実施しています。

4月のお花見ドライブは御調八幡宮へ行きました。お花見ドライブは入居者さまが特に楽しみにされており、当日は、「ここはどこ？八幡さん？わあ、桜がよう咲いとるよ。見事に満開できれいよなあ」「本当、今年も連れて来てもらって嬉しいわ。ありがとうね」「気持ちがいいね。頑張って歩いてしっかり見んといけんね」と満開の桜の中をゆっくりと散策しながらいつもより会話も弾み喜ん



でいただきました。

でいただきました。

日常生活では、共同生活の中で、一緒に食事の準備や掃除、洗濯物をたたむなどの家事作業、グループホームの庭や畑の草取り、野菜の収穫など行っています。作業中は、手際良く集中力も高まり活き活きとした表情を見せてくださり、「私は、これはできるよ。得意よ」と料理の下ごしらえや「次は何をしようか？言うてくださいよ。できることはなんでもするよ。外の草が気になるから取りに行こうよ」と力強く話されます。

おひとりおひとりが得意なことで力を発揮され、馴染みの方たちと協力しながら役割を持ち、穏やかに過ごされています。これからも施設での生活が、家庭的で落ち着いた雰囲気の中、メリハリと楽しみのある日常を送っていただけるものとなるように、支援をまいります。

人間ドックを受診しましょう!

当院の人間ドックは、皆さまの健康を増進し発病を予防するとともに、病気の早期発見・早期治療を目指して、総合的な健康支援を行っています。人間ドックは1日ドックと2日ドックの基本検査項目に加え、脳ドックなど各種のオプション検査を用意しています。受診日当日に医師による健診結果の説明と保健師による保健指導を全員に実施しています。また、健診後のフォローで継続的な関わりを持たせていただいています。健康で充実した日々を過ごしていただくため、年に一度は人間ドックを受診して健康管理にお役立てください。皆さまの満足と安心を大切に、スタッフ一同心よりお待ちしております。

●受診コース一覧について

令和8年4月1日改定

コース	健診曜日	所要時間	昼食	料金(税込)
日帰りドック	月～金	午前8時20分～午後2時頃まで	あり	36,300円
1泊2日ドック	月・木	午前8時20分～翌日の午後1時頃まで	あり	59,950円
脳ドック	水・金	午後1時～午後3時頃まで	—	34,100円
日帰り+脳ドック※	月～金	午前8時20分～午後2時頃まで	あり	60,500円

- ・上記の健診料金は、全額自己負担で受診した場合の料金です。 ※はセット料金です。
- ・1泊2日ドックに脳ドックを組み合わせることもできます。料金はお問い合わせください。
- ・お申し込みの団体(保険者や事業所)によっては、検査内容が一部異なる場合があります。健診費用や助成(補助)についても、お申し込みの団体にお問い合わせください。
- ・日帰りドック及び1泊2日ドックに胃内視鏡検査(胃カメラ)の料金は含まれていません。胃バリウム検査から胃カメラに変更を希望される場合は予約時または事前にご連絡ください。
- ・1泊2日コースの宿泊料金(夕食含む)、および2日目の朝食(軽食)は健診料金に含まれています。
- ・その他各種オプション検査をご用意しています。お気軽にお問い合わせください。

公立みつぎ総合病院は「人間ドック健診施設機能評価認定施設」および「日本人間ドック学会保健指導実施認定施設」です。

当院では受診者の皆さまが安心して健診を受けられるよう、平成18(2006)年1月16日に「人間ドック健診施設機能評価」の初回認定を受けました。その後、5年毎に書面・訪問調査により評価が行われ認定更新しています。更新4回目となる今年2月5日には訪問調査が行われ、4月1日より、引き続き機能評価認定を取得しています。



人間ドック・健診のご予約、お問い合わせ

公立みつぎ総合病院 人間ドック健診受付 TEL 0848-76-1111 (代表)
(予約受付時間: 平日 10:00~16:00)





8020からオーラルフレイル予防へ
時代と共に進化するお口の健康づくりを支えています

「8020(はちまるにいまる)運動」とは

80歳になっても自分の歯を20本以上残そうという運動です。生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるようにとの願いを込めて、平成元年(1989年)からこの運動が始まりました。運動開始当初の達成者は約10人に1人でしたが30年以上の活動を経て令和6年(2024年)最新の達成者は2～3人に1人と過去最高を更新しました。要因としては、定期的な歯科検診の普及、歯科治療技術や口腔衛生意識の向上などが挙げられます。



当院歯科診療室でも、町内での歯科保健活動を通じて啓発活動を行い、健康福祉展では町内在住の8020達成者の方を表彰させていただくなど、長年8020達成に向けて取り組んできました。歯科診療室の入口に表彰者の方のお名前を掲示させていただいています!!

「オーラルフレイル」ってご存知ですか？



健康教育の場面

オーラルフレイルとは、加齢と共に見られる“くち”の衰えの事で、滑舌低下、食べこぼし、わずかなむせ、噛めない食品が増える、口の乾燥など気が付きにくい症状が特徴です。この些細なサインを放置すると要介護状態へのリスクが高くなります。

この概念は、平成26年(2014年)に日本歯科医師会が提唱しました。提唱されてから12年経ちオーラルフレイルの認知度は近年、着実に向上していますが、依然として言葉は知っているものの、自分事として捉えている人は少ないという状況があるようです。

8020運動から一歩進んでオーラルフレイル予防という考え方が注目され、時代と共に歯を守ることから、“くち”の機能を守ることへと視点が広がっています。

歯科診療室では、外来での診療をはじめ、在宅、施設、病棟訪問で口腔ケアを行い口の健康をサポートしています。さらに、地域に向けた歯科保健活動として乳幼児の歯科健診、相談、保育所や小学校での歯磨き指導、サロンや通いの場などで地域住民への講座を通じて生涯のさまざまなステージで支援しています。

各世代で、“くち”の悩みはそれぞれあります。気になることは歯科へご相談ください。



保育所での歯磨き指導

職員の紹介

回復期リハビリテーション病棟で働き始め、約1年が経ちました。患者さまの「できた！」の瞬間と一緒に喜びながら、何気ない会話や笑顔に励まされ、日々温かい気持ちと活力をいただいております。患者さま



看護師
まえば ももこ
前場 桃子

一人ひとりに寄り添い、その人らしい生活への復帰を支えられるよう、私自身も患者さま・ご家族より日々学びながら看護に取り組んでいます。まだまだひよっこではありますが、笑顔と丁寧な関わりをモットーに、これからも安心してリハビリテーションに取り組める環境づくりを心掛けていきたいです。今はまだ小さな芽ですが、いつか大きな花を咲かせられるように成長していきたいと思っています。今後もよろしく願いいたします。

私は、公立みつぎ総合病院に入職して、1460日が経ちました。日々の業務の中で、先輩方にご指導いただきながら、多くのことを学び、経験を積んでいます。忙しい毎日ではありますが、患者



看護師
さこだ きょうか
迫田 京香

さまやご家族に少しでも安心していただけるよう、笑顔と思いやりを大切にしながら関わることを心がけています。また、「話しかけやすい存在」でいられるよう、一人ひとりと丁寧に向き合うことを意識しています。

私の楽しみは推し活で、ライブに出かけて活力をもらっています。リフレッシュしながら、これからも信頼される看護師を目指して、成長していきたいと思っています。

公立みつぎ総合病院に入職して、4年目になりました。リーダー業務をするようになり、今まで以上に責任感をもって仕事をするようになってきました。まだわからない検査や処置は先輩方に聞きながら一つ一つ頑張っています。後輩のお手本になるべき立場にもなったので、一緒に学んで成長していきたいです。これからも患者さまに寄り添う気持ちを忘れずに看護していきたいです。



看護師
いのうえ かなえ
井上 香苗



公立みつぎ総合病院に入職して4年目、看護師としては7年目となりました。地元である御調町の地域の方々の力になれるよう日々看護を行っています。



看護師
ひがし えりか
東 絵里花

所属は地域包括ケア病棟です。多職種と協力しながら、患者さまやご家族への指導、日常生活動作の向上、退院先の調整などを行っています。退院後の生活も見据えながら看護を行うことは大変ですが、患者さまが笑顔で退院する姿にやりがいを感じます。

まだ学ぶことも多いですが、経験を重ね、できることも増えてきました。患者さまに安心していただける看護師になれるよう頑張っています。

公立みつぎ総合病院 ホームヘルプステーション

ホームヘルプステーションは、介護保険の訪問介護と介護予防訪問サービスを提供するとともに、障害福祉サービスである居宅サービスも提供しています。

訪問介護は、利用者さまの「生活の支援」であり、利用者さまはもとより介護者の介護量軽減を図り、可能な限り居宅において自立した生活を営むことができるよう、多職種との連携を図り、利用者さまのニーズに沿い、支援を行っています。

また令和7年度より尾道市子育て世帯訪問支援事業を開始しています。



訪問介護スタッフ

●問い合わせ先 御調保健福祉センター内 TEL 0848-76-2235

令和8年度 公立みつぎ総合病院 さわやか健康教室

当院では、いろいろな病気に関することや、その予防法などをできるだけわかりやすくご紹介するために、さわやか健康教室を開催しています。無料ですので、どなたでもお気軽にご参加いただけます。

講演の前に、リハビリ体操を行います。皆さまのご参加をお待ちしております。

時間 14:00～ **開催場所** 病院5階講義室

開催日	演題	講師
令和8年9月9日(水)	薬の豆知識	薬局長 横田 武治
令和8年11月11日(水)	アンガーマネジメント	公認心理師 野津 愛
令和9年1月13日(水)	音楽でリフレッシュ	音楽療法士 宮廻 幸枝
令和9年3月10日(水)	未定	皮膚・排泄ケア看護認定看護師 内田 真奈美

※都合により、開催日時、演題等を変更する場合がありますのでご了承ください。

ご意見、ご感想をお聞かせください

お問い合わせ先：地域包括ケア連携室 TEL 0848-77-0955 FAX 0848-77-0956
E-mail: tiiki@mitsugibyouin.com ホームページは「みつぎ病院」で検索
発行：尾道市立総合医療センター 公立みつぎ総合病院 広報誌編集委員会

